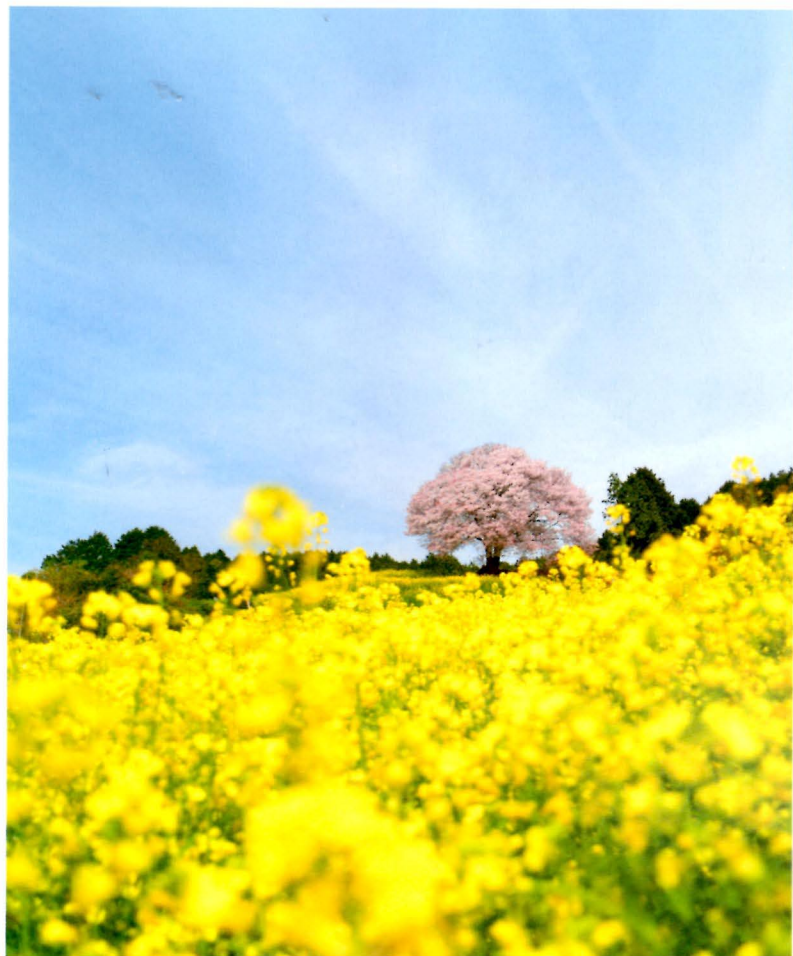


大井実の  
BOOKな話

福岡市内で書店『ブックス  
キューブリック』をいとなむ  
大井実さんの、本のある日  
常をつれづれに。  
撮影 / 川上信也

繰り返して読んでも聴いても心地よくて  
飽きのこない、好きな洋服のような作品



『住宅巡礼』  
中村好文 / 新潮社 / 2,940円



繰り返して読んでも聴いても飽きのこない、自分の中の定番がいくつかあります。心地よく楽しくて、忙しい日常にほっと安らぎを与えてくれる作品です。建築系の本というと専門性が高そう  
で、敬遠される方もいらっしゃるでしょう。でも、今回私がおすすめする中村好文氏の『住宅巡礼』は、決して専門書でも小難しい本でもありません。内容は、日本を代表する建築家である著者が、ル・コルビュジエやアルバ・アアルトといった世界的な建築家の手がけた住宅を訪ね歩いた記録。ご本人の素直で飾らない人柄がにじみ出ている文章が楽しく、旅のエッセイのようにも読める素敵な本です。

ればインテリアの参考にも。多面的に楽しめる住宅本だと思います。そして今回、このコーナー最後にご紹介する音楽は大御所、ライ・クーダーの「JAZZ」というアルバムです。ライ・クーダーは非常にボーダレスなミュージシャンで、この作品にも古い時代のジャズに加え、ブルースやゴスペル、フォーク、カントリーなど実にさまざまな要素がミックスされ、そこから新しい世界が生まれています。さわやかで気持ちよくて、日曜日の朝に聴きたい音楽といったイメージです。ご紹介した2つの作品はどちらも店の定番。「住宅巡礼」は開店当初から置いてありますし、「JAZZ」はBGMとしてヒーローテーションの1枚。本も音楽も、洋服と同じ。着心地のいいシャツを見つめるように、好きなセーターを繰り返して着るように、自分にとって心地いい本や音楽をこれからも探し、紹介していきたいと思っています。